

平成22年3月期 第3四半期決算短信（非連結）

平成22年2月1日

上場会社名 コタ株式会社 上場取引所 大証第二部
 コード番号 4923 URL http://www.cota.co.jp
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 小田 博英
 問合せ先責任者（役職名） 取締役経理部長（氏名） 廣瀬 俊二 TEL (0774)44-4923
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月8日

（百万円未満切捨て）

1. 平成22年3月期第3四半期の業績（平成21年4月1日～平成21年12月31日）

(1) 経営成績（累計）（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	3,599	7.2	728	8.0	734	7.4	373	17.5
21年3月期第3四半期	3,359	—	674	—	683	—	317	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	46 98	—
21年3月期第3四半期	39 97	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	5,657	4,529	80.1	569 92
21年3月期	5,417	4,255	78.6	535 43

（参考） 自己資本 22年3月期第3四半期 4,529百万円 21年3月期 4,255百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0 00	—	15 00	15 00
22年3月期	—	0 00			
22年3月期(予想)				23 00	23 00

（注）配当予想の当四半期における修正の有無： 有

平成22年3月期の期末配当金には、「創立30周年記念配当」6円を含んでおります。

3. 平成22年3月期の業績予想（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	5,000	10.0	929	8.6	936	8.2	513	21.3	64 60

（注）業績予想数値の当四半期における修正の有無： 無

4. その他

- (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無
 - ② ①以外の変更 : 無
- (3) 発行済株式数（普通株式）
- | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | | | |
| 22年3月期第3四半期 | 7,950,000株 | 21年3月期 | 7,950,000株 |
| ② 期末自己株式数 | | | |
| 22年3月期第3四半期 | 2,106株 | 21年3月期 | 2,106株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計期間） | | | |
| 22年3月期第3四半期 | 7,947,894株 | 21年3月期第3四半期 | 7,947,894株 |

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 業績に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における我が国経済は、新興国の経済回復を足がかりに生産や輸出に一部、持ち直しの兆しが見受けられるものの、為替の変動やデフレ懸念、不安定な雇用情勢、設備投資の抑制等、依然として厳しい状況で推移し、企業経営を取り巻く環境も引き続き先行き楽観できない状況にあります。

美容業界におきましては、美容室間の顧客獲得競争が引き続き展開されるとともに、景気低迷の影響から顧客の来店サイクルの長期化や来店客数の減少、客単価の下落など美容室経営にとって厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社では「美容室の繁栄」と「美容業界の近代化（改革）」という基本理念、そしてこれらを具体化した美容室への「コンサルティング・セールス」と「旬報店システム」が、現在のような経済情勢のときこそ求められ大きな力を発揮するものにとらえております。技術的な側面だけでなく、店販の推進や毛髪のカウンセリングの徹底など、付加価値を高めることで美容室が安定的に成長できるような提案を行っております。

当第3四半期累計期間におきましては、例年11月と12月の2ヵ月にわたって行う「コタ全国店販コンクール」での販売実績が計画に達するとともに、それに伴いトイレットリー（シャンプー、トリートメント）が堅調に推移し、また当期5月と8月に発売した整髪料の新製品「フェアルシア」が引き続きお客様からの支持をいただきました。

費用につきましては、原油高及び生産量の増加を要因とした材料費、外注生産している新製品の外注費用等の増加により売上原価は前年同四半期累計期間に比べ10.3%増加いたしました。また、販売費及び一般管理費は、人員増加による人件費等が増加しておりますが、減価償却費負担の減少及びコスト意識の徹底により前年同四半期累計期間に比べ5.2%の増加にとどまりました。

この結果、当第3四半期累計期間における売上高は3,599百万円（前年同四半期比7.2%増）、営業利益は728百万円（前年同四半期比8.0%増）、経常利益は734百万円（前年同四半期比7.4%増）、四半期純利益は373百万円（前年同四半期比17.5%増）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末から240百万円増加し、5,657百万円となりました。

主な要因としては、たな卸資産152百万円、有形固定資産137百万円が増加した一方で、売掛金38百万円、有価証券29百万円が減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末から33百万円減少し、1,128百万円となりました。主な要因としては、販売奨励引当金152百万円が増加した一方で、賞与引当金61百万円及び未払金（その他流動負債）206百万円が減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末から274百万円増加し、4,529百万円となりました。

主な要因としては、利益剰余金254百万円の増加によるものであります。自己資本比率は、前事業年度末の78.6%から1.5ポイント上昇し、80.1%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末より14百万円減少し、1,517百万円(前年同四半期比235百万円増)となりました。

各活動別の当第3四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フローは、317百万円(前年同四半期は288百万円)となりました。

収入の主な要因としては、税引前四半期純利益638百万円、減価償却費108百万円及び販売奨励金の増加(その他の引当金の増減額)152百万円などであり、支出の主な要因としては、たな卸資産の増加152百万円、法人税等の支払い366百万円などによるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フローは、△212百万円(前年同四半期は△92百万円)となりました。

収入の主な要因としては、定期預金の払戻による収入100百万円などであり、支出の主な要因としては、有形固定資産の取得による支出332百万円などによるものです。

③ 財務活動によるキャッシュ・フローは、△119百万円(前年同四半期は△111百万円)となりました。

これは、配当金の支払いによる支出であります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年5月8日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

① たな卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、当第2四半期会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 法人税等の算定基準

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	393,806	379,749
受取手形	37,808	19,721
売掛金	860,128	898,880
有価証券	1,123,656	1,152,698
商品及び製品	471,835	378,141
仕掛品	20,864	4,242
原材料及び貯蔵品	168,515	126,227
その他	123,592	75,826
貸倒引当金	△813	△600
流動資産合計	3,199,394	3,034,887
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	601,818	654,638
土地	1,104,273	901,739
その他(純額)	165,687	178,152
有形固定資産合計	1,871,779	1,734,530
無形固定資産	38,723	31,291
投資その他の資産		
投資有価証券	226,335	241,005
その他	321,731	375,706
投資その他の資産合計	548,067	616,711
固定資産合計	2,458,570	2,382,534
資産合計	5,657,964	5,417,421
負債の部		
流動負債		
買掛金	115,404	87,735
未払法人税等	233,500	280,000
賞与引当金	—	61,981
役員賞与引当金	15,435	—
販売奨励引当金	157,322	5,114
その他	198,347	344,576
流動負債合計	720,008	779,407
固定負債		
役員退職慰労引当金	321,711	301,160
長期預り保証金	86,587	81,327
固定負債合計	408,298	382,487
負債合計	1,128,307	1,161,894

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	387,800	387,800
資本剰余金	330,800	330,800
利益剰余金	3,801,082	3,546,908
自己株式	△1,115	△1,115
株主資本合計	4,518,567	4,264,392
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,090	△8,866
評価・換算差額等合計	11,090	△8,866
純資産合計	4,529,657	4,255,526
負債純資産合計	5,657,964	5,417,421

(2) 【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	3,359,109	3,599,656
売上原価	894,489	986,822
売上総利益	2,464,620	2,612,833
販売費及び一般管理費	1,789,906	1,883,870
営業利益	674,713	728,962
営業外収益		
受取利息	940	921
有価証券利息	5,062	1,960
受取配当金	2,419	3,362
投資有価証券売却益	—	5,520
貸貸収入	—	2,243
その他	8,482	4,208
営業外収益合計	16,905	18,217
営業外費用		
投資有価証券売却損	—	3,555
たな卸資産廃棄損	6,156	4,399
貸貸費用	1,464	1,135
その他	501	3,996
営業外費用合計	8,121	13,087
経常利益	683,497	734,092
特別利益		
その他	—	25,307
特別利益合計	—	25,307
特別損失		
固定資産売却損	—	12,657
固定資産除却損	578	4,243
投資有価証券評価損	128,455	238
減損損失	—	85,450
その他	—	17,999
特別損失合計	129,034	120,589
税引前四半期純利益	554,462	638,810
法人税、住民税及び事業税	322,557	320,212
法人税等調整額	△85,751	△54,794
法人税等合計	236,805	265,417
四半期純利益	317,657	373,392

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	554,462	638,810
減価償却費	120,075	108,509
減損損失	—	85,450
貸倒引当金の増減額(△は減少)	149	213
賞与引当金の増減額(△は減少)	△55,722	△61,981
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	16,861	15,435
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	35,761	20,551
その他の引当金の増減額(△は減少)	141,490	152,208
受取利息及び受取配当金	△8,422	△6,244
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1,965
投資有価証券評価損益(△は益)	128,455	238
有形固定資産売却損益(△は益)	—	12,657
売上債権の増減額(△は増加)	28,659	20,563
たな卸資産の増減額(△は増加)	△137,537	△152,603
仕入債務の増減額(△は減少)	△27,672	27,668
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△152,616	—
その他	△24,376	△181,278
小計	619,568	678,232
利息及び配当金の受取額	8,422	6,193
法人税等の支払額	△339,757	△366,712
営業活動によるキャッシュ・フロー	288,233	317,713
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	100,000
有形固定資産の取得による支出	△63,722	△332,269
有形固定資産の売却による収入	—	6,967
投資有価証券の取得による支出	△59,173	△1,180
投資有価証券の売却による収入	8,300	50,435
投資有価証券の償還による収入	30,000	603
その他	△7,975	△37,400
投資活動によるキャッシュ・フロー	△92,571	△212,843
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△281	—
配当金の支払額	△110,789	△119,855
財務活動によるキャッシュ・フロー	△111,071	△119,855
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	84,591	△14,984
現金及び現金同等物の期首残高	1,197,637	1,532,447
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,282,228	1,517,462

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期累計期間における生産実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

区分	金額(千円)	前年同四半期比(%)
トイレットリー	1,948,381	113.4
整髪料	982,119	178.2
カラー剤	222,041	31.7
育毛剤	148,740	131.8
パーマ剤	116,277	65.7
合計	3,417,561	104.8

(注) 上記金額は「生産本数×代理店納入価」により算出しており、消費税等は含まれておりません。

(2) 商品仕入実績

当第3四半期累計期間における商品仕入実績は、次のとおりであります。

区分	金額(千円)	前年同四半期比(%)
商品	99,119	81.7
合計	99,119	81.7

(注) 1 上記金額は実際仕入額であり、消費税等は含まれておりません。

2 商品の主な内容は、美容室で利用されるDMやチラシ等の販促物のほか、美容器具、施術時に使用する小物品等であります。

(3) 外注実績

製品の製造において、一部を外注に依存しております。

当第3四半期累計期間における外注実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

区分	金額(千円)	前年同四半期比(%)
トイレットリー	5,743	119.4
整髪料	145,619	517.9
カラー剤	45,133	31.6
育毛剤	11,936	112.1
パーマ剤	15,841	81.8
合計	224,273	109.0

(注) 上記金額は外注加工費であり、消費税等は含まれておりません。

(4) 販売実績

当第3四半期累計期間における販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

区分	区分	金額(千円)	前年同四半期比(%)
製品	トイレットリー	2,046,554	106.8
	整髪料	805,623	127.1
	カラー剤	341,586	82.4
	育毛剤	146,417	109.0
	パーマ剤	137,897	95.6
	小計	3,478,078	107.2
商品		112,008	104.5
受取販売手数料		9,569	107.0
	合計	3,599,656	107.2

- (注) 1 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 総販売実績のうち輸出高は、29,968千円(総販売実績に占める割合0.8%)であります。
 3 総販売実績に対する売上高の割合が10%を超える販売先はありません。
 4 商品の主な内容は、美容室で利用されるDMやチラシ等の販促物のほか、美容器具、施術時に使用する小物品等であります。
 5 受取販売手数料は、美容室等の店舗増改築及び美容室専用の集客支援ソフト推進による業者等から受け取る紹介手数料等であります。